

古座川町 町勢要覧

令和7年版
(2025年版)



“清流”古座川

和歌山県古座川町

ごあいさつ

平素より町政運営にあたりまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本町は昭和31年に「高池町」、「明神村」、「小川村」、「三尾川村」、「七川村」の5町村が合併して誕生し、今年で町制施行69周年を迎えます。古座川町は紀伊半島南端内陸部に位置し、町の中央を清流古座川が流れ、町の面積294.23km²のうち、約96%が森林であり、緑豊かな農山村であります。

国内外の社会情勢や経済情勢が大きく変貌する中、本町におきましても、人口減少や産業形態の変遷などにより、人々の生活も大きく変わってきております。少子高齢化、産業の低迷、交通網や生活基盤の遅れなど、極めて厳しい状況にあります。町民の皆さまが健やかで安心して暮らすことのできるよう、職員とともに計画を進め、「持続可能なまちづくり」を目指してまいります。

町内の温泉宿泊施設「ぼたん荘」は、休止期間中に施設の改修を行い、令和6年8月末に完成し、宿泊を始め日帰り入浴等様々なサービスをご用意しております。「ぼたん荘」は、古座川観光の拠点施設また滞在型交流施設として、地域観光、地域経済の発展に大きく寄与するとともに、住民の皆さまの憩いの場として生活、福祉の向上に大きな役割を果たすものと確信いたしております。

町民の皆さまのご苦勞やご心配を少しでも解消し、暮らしの安全安心を第一に、今後も引き続き、国・県と連携し、事業所支援や生活支援に努めてまいります。また、福祉・産業振興・子育て支援の充実、町内道路の整備、災害対策の強化や生活支援の充実など、さまざまな分野での課題解決に取り組んでまいります。

本町勢要覧は、私たちのまちづくりをご理解いただくための資料として、ご活用いただければ幸甚に存じます。



令和7年1月

古座川町長 大屋 一成

町章



中央の「古」は益々雄飛する姿を表現したもので末広の形を示し、三本線は清流古座川を表したものです。

町の花: やまざくら, クマノザクラ
 町の木: すぎ
 町の鳥: うぐいす



図1 古座川マップ

古座川町の概要

古座川町は、和歌山県南東部に位置し、東西19.5km、南北21.7km、面積294.23km²を有しています。町の最北にそびえる紀伊半島南部の最高峰、大塔山（標高1,121m）に源を発する古座川が町の中央を流れています。

町面積の約96%が森林で、温暖多雨な気候で樹木の育成に適しており、良質な古座川材の産地として古くから知られています。また、古座川流域の豊かな観光資源に恵まれ、清流古座川を中心にレクリエーション地としても注目されています。

町制施行は、昭和31年3月31日に高池町、明神村、小川村、三尾川村、七川村の1町4村の合併によりなされました。合併当時には1万人いた人口も、令和7年1月1日現在では2,302人となり、少子高齢化が進み、過疎化する集落を維持するため、さまざまな対策を講じているところです。

町内の交通は、国道371号を幹線とする道路網が中心となり、京阪神方面へは近畿自動車道紀勢線、国道42号、鉄道ではJR紀勢本線が結ばれ、東京方面へは南紀白浜空港も利用されています。平成27年には近畿自動車道紀勢線がすさみ町江住まで延長された他、小川地区の中崎トンネルの開通、那智勝浦新宮道路が那智勝浦町市屋まで延長されたことにより、多方面へのアクセスがより便利になりました。

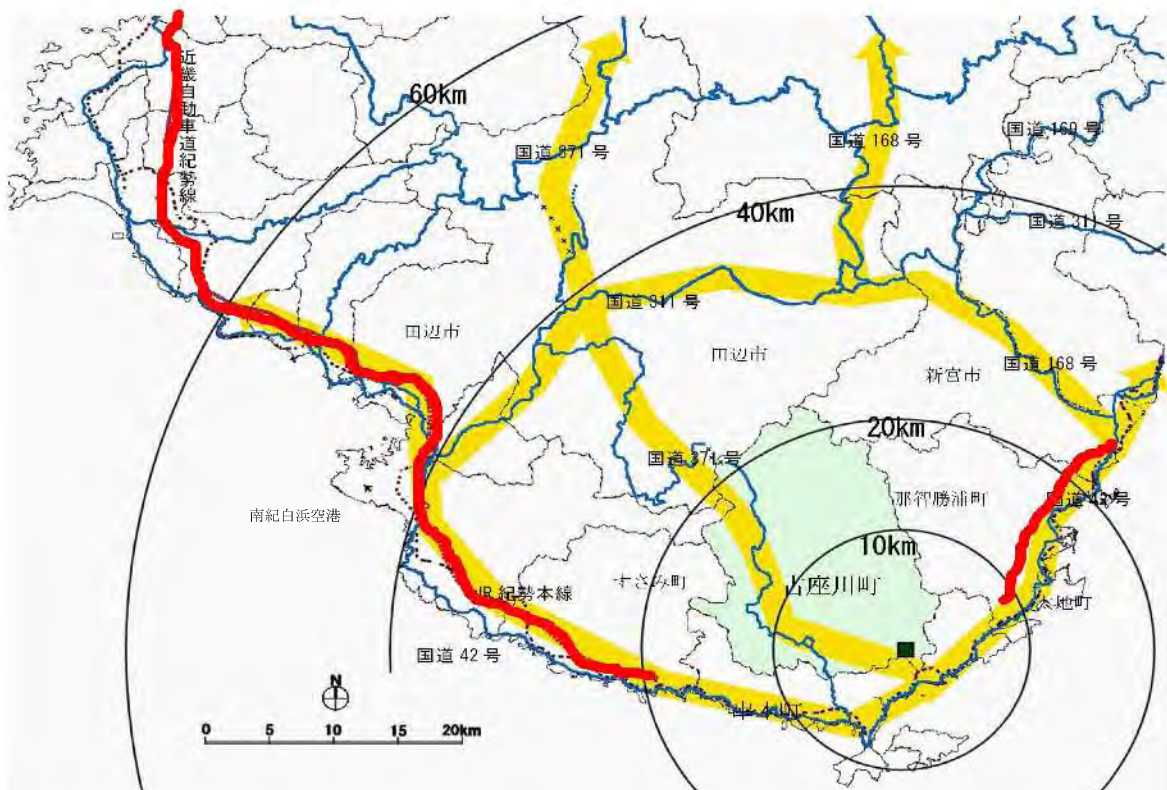


図2 古座川からの距離

まちづくりの行動目標

本町の将来像「豊かな心と生きがいを育むまち 古座川」を目指し、まちづくりの基本姿勢として、2つの柱を掲げています。

1. “きらりと光る”古座川
2. “町民とともに築く”古座川

さらに、その実現に向け、6つのまちづくりの基本目標を掲げています。

- (1)田舎でも安心の福祉サービス
- (2)未来と過去を繋ぐ教育
- (3)住みたい、住み続けたい生活環境
- (4)癒しと活力いっぱいの古座川タウン
- (5)きよらかな環境を守るまち
- (6)郷土愛に満ちた相互扶助のまち

基本目標1～田舎でも安心の福祉サービス～

◎子育て支援の充実

子育て支援サービスの充実をはじめ、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりに取り組んでいます。令和元年度に策定した「第2期古座川町子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～6年度）に基づき、0歳から15歳までの子育て支援・一貫教育として、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども、子育て支援について総合的に取り組んでいます。

英語指導員の保育所への派遣や、町内在住の園児の保育料を無償としています。また、妊娠から出産後18歳までの保健師によるサポート体制の充実、妊産婦健康診査などの各種費用の助成、未就園児を対象とした子育て支援センターでの相談指導の実施や、学童保育所を運営し、子育て家庭への支援、地域全体で子育てを支援する基盤整備を図っています。

高校生等の子育て世帯の経済的支援を行うため、町独自の支援金を給付しています。



◎保健・医療の充実

「自分の健康は自分で守る」ことを基本とし、すべての住民が健康で元気に暮らせるよう、関係機関が連携して、健康に関する教育・指導・相談等の体制を整備しています。また、医療ニーズの高度化・多様化に対応し、地域で安心な医療が受けられるよう、医療機関と連携した医療体制の充実を図ります。

古座川町保健福祉センターは、明神診療所、役場健康福祉課、地域包括支援センター、社会福祉協議会などが一体となっており、保健・医療・福祉等の複合施設として、町の保健福祉活動の拠点となっています。町内の診療所は、明神診療所のほかに、七川診療所や三尾川へき地診療所、小川へき地診療所があります。

◎高齢者福祉の充実

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、社会参加や在宅生活への支援を充実するとともに、介護保険における介護予防事業、地域支援事業の充実に努め、ともに支え合う地域づくりを推進しています。

「いきいき百歳体操」などの運動教室や、社会福祉協議会の「ふれあいカフェ」など、高齢者の皆様が充実した日々を送れるようなイベントを企画しています。



◎障害者福祉の充実

障害者が地域社会の一員として自立した生活を送れるよう、自立支援サービスの定着や充実を図るとともに、地域で関わり合える社会環境づくりを推進しています。

日常生活を支援するための補装具を1割負担で利用できる「補装具費支給制度」などの助成制度や、障害に関する相談、通院等の移動支援、施設への入所や事業所の利用に係る費用を給付する「障害福祉サービス費給付制度」などのサービスがあります。

◎地域福祉の充実

すべての住民が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに向けて、社会福祉協議会をはじめ、民生委員・児童委員、ボランティア団体など各種団体との連携を強化するとともに、地域を交えた福祉の向上に努めています。また、高齢者の方をはじめ、幅広い世代の方が交流できる場所として、集いの場「陽だまり」を運営しています。

基本目標2～未来と過去をつなぐ教育～

◎就学前・学校教育の充実

古座川町の保育・学校教育では、「ふるさと古座川をたくましく切り拓く能力を備え、心豊かで創造性に富んだ幼児・児童・生徒の育成」を目指しています。その実現に向け、子どもたちの「生きる力」を育成するため、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」という『知・徳・体』の調和のとれた保育・教育を推進しています。

令和2年度に改訂した「古座川町子ども教育15年プラン」では、家庭や地域社会との連携を深める保育所・学校づくりとして、「ふるさと教育」を掲げています。

また、英語教育を推進し、ALT（外国語指導助手）、英語教育推進員の外国人指導者による保育所での英語教育や、小中学生向けの無料の英会話教室を行っています。

その他には、読書活動支援員による町内各学校での読書活動の推進、古座川で捕れたジビエや地元産の米や野菜を給食に使用し、地産地消にも取り組んでいます。



◎生涯学習・生涯スポーツの推進

子どもから高齢者まで、生涯にわたって文化的で豊かな人生を送れるよう、公民館教室を開催し、書道、染色、ピアノなどの活動により、主体的に学ぶ生涯学習の充実に努めています。

また、グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会、ソフトテニス大会などを開催し、参加者それぞれの体力や年齢に応じたスポーツ活動を行える環境づくりを支援しています。

中央公民館は、生涯学習・多世代交流、子育て支援の拠点として活用するとともに、公民館図書室としても開放しています。



◎青少年の健全育成の推進

青少年の健全育成を目指し、関係機関、家庭などが一体となって取り組む体制を確立し、青少年のまちづくり活動などへの参画促進や青少年団体の育成・支援を推進しています。

川崎市との交流事業では、川崎市の児童・生徒の訪問受け入れと、古座川町の児童が川崎市を訪問する相互交流を行い、子どもたちのコミュニケーション能力・協調性・自主性を育み、ふるさとを愛し守り育てる意欲や態度の育成を図っています。

◎文化・芸術の振興

中央公民館を中心とした町民主体の芸術・文化活動を支援するとともに、文化財の保存・整備と無形民俗文化財や地域特有の食文化・生活文化の伝承に努めています。

中央公民館2階に、公民館図書室や学習スペースを設置し、展示している実物の民俗資料や「新古座川風土記」などにより、古座川町の歴史に触れることができます。

また、地域で語り継がれている民話をまとめた冊子「古座川の民話」は、貴重な文化遺産として活用しています。



基本目標3～住みたい、住み続けたい生活環境～

◎道路網の整備

広域的なアクセスの向上、町内の地域間交流の強化と安全性・利便性の向上及び定住人口増に向け、町内道路網の計画的な整備、一般国道42号串本太地道路古座川インターチェンジ（仮称）整備を契機とするアクセス道路の整備を進めるとともに、環境と人に優しい道路空間づくりを心がけています。

また、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の補修、町内各路線の適正な維持管理に努めています。

◎公共交通の維持・充実

利便性の高い公共交通を維持・充実させるため、ニーズを把握し、特性に合った公共交通体系の構築に努めています。町内唯一の公共交通「ふるさとバス」は、平成13年から運行を開始し、現在はスクールバス併用で2路線を運行しています。令和3年6月には、バス利用者から寄せられた意見を基に運行内容を改正しました。

通学・通院等での住民の移動手段を確保するため、地域を支える公共交通として運行を継続します。



◎水道施設の維持・整備

安全な水を安定して供給するため、老朽化した設備の更新や施設整備を行い、災害に強い水道施設づくりに努めています。導管及びその他の工作物により飲用に適する水として供給する施設が53施設あり、そのうち水道法の適用を受ける簡易水道が7施設、残りの46施設は水道法適用外の飲料水供給施設及び簡易給水施設として位置づけられ、運営は各地区等が行っています。

◎消防・防災・救急体制の充実

自然災害からの安全確保のため、地域防災力の向上に努め、豊かな自然を大切な財産とし、安心して暮らせる総合的な防災対策を推進しています。

令和2年度には、高池下部区に「古座川町津波避難総合センター」が完成し、津波や洪水被害等の災害対策として活用しています。



◎住宅・住宅団地の整備

安心して暮らせる住環境の整備、住宅の適正管理を行い、町民にとって快適な住環境の確保に努めています。公営住宅長寿命化計画に基づき、既存住宅の計画的な維持管理を行い、津波や洪水等の災害を想定した新たな住宅地等の確保にも取り組んでいます。

◎情報基盤の充実

情報通信基盤の整備を促し、町民のまちづくり活動のための必要な施策の推進に努めるとともに、積極的な情報発信による産業活動の活性化や防災情報体制の整備に努め、情報化社会の変化に対応できるまちづくりを目指しています。

◎定住の促進

移住定住者のための空き家情報の充実や各種補助事業を実施するとともに、各種セミナーやフェアなどへの積極的な参加を行うなど、より多くの人に古座川町を知ってもらう事業を推進しています。平成27年度から令和6年度までに「地域おこし協力隊」を16名採用し、地域外の人材の町への移住を促進するとともに、関係機関と連携し、情報交流や農林業・観光の振興、地域産業の活性化など、多様な交流を推進しています。

基本目標4～癒しと活力いっぱいの古座川タウン～

◎農林業の振興

安全・安心な食を提供する自立した農業の実現に向け、多面的な農業振興施策を総合的、計画的に推進し、持続可能な農業を目指しています。

町の推奨三品目であるゆず・しきみ・せんりょうの他、休耕田を活用して栽培されたんにくは新たな特産品として注目されています。特産品の積極的な販売・市場調査を行い、消費者ニーズに対応した新たな特産品づくりに取り組んでいます。

また、農林産物に被害を及ぼす有害鳥獣の鹿や猪等を「山の恵み」として捉え、「ジビエ」という貴重な地域資源として活用しようと発想を転換し、ジビエ製品の販売を行っています。

林業については、長引く木材不況などにより厳しい情勢にありますが、国・県の補助事業・森林環境譲与税を活用し、関係機関との連携により適切な森林整備を図っています。



◎観光・交流事業の振興

交流人口の増加と地域活性化に向け、多様化、高度化する観光・レクリエーションニーズに即した多面的な取り組みを一体的に推進し、観光・交流機能の拡充に努めています。

古座川町への観光の目的は、川釣り、キャンプ、川遊び、花見、温泉・保養、サイクリングなどが主なものです。

町内には「道の駅一枚岩」、「道の駅瀧之拝太郎」、「道の駅虫喰岩」の3つの道の駅があり、観光の拠点となっています。また、南紀熊野地域は日本ジオパークに認定され、町内では11か所がジオサイトとして認定されています。

近年は、アウトドアブームによりサイクリングやカヌー、キャンプ客が増加しており、今後、豊かな自然環境を生かした観光振興を進めるため、宿泊施設の改修やキャンプ場等の運営計画など観光客の受け入れ体制の整備に取り組んでいます。



◎商工業の振興

にぎわいと活力あふれるまちづくりの一環として、商工会と連携し、魅力ある商業環境づくりを進め、商業の活性化を図ります。また、地域経済の活性化と雇用の場の確保に向けた取り組みと既存企業の体質強化を促進します。

古座川町の商工業は、小規模なスーパーと個人商店で構成され、外部からの進出企業を除けば地場の小規模な製材業等が中心となっています。

基本目標 5 ～きよらかな環境を守るまち～

◎自然・環境と共生する地域社会

自然環境と調和した、町民が生涯にわたって快適に暮らせる環境づくりを推進するとともに、快適で美しいまちの景観の形成を図っています。

◎資源循環型社会の構築

町民、事業者、行政の協働により、ごみの発生抑制や再利用による減量化、リサイクルなどごみの減量化に取り組むとともに、ごみの収集、処理体制の充実をはじめ一般廃棄物の適正処理を推進し、自然環境と調和した持続可能な資源循環型社会の構築に積極的に取り組んでいます。

◎公園の整備

すべての町民が潤いのある生活を送れるようにするため、清流・古座川を中心とした公園などの憩いの場づくりに努めています。

基本目標 6 ～郷土愛に満ちた相互扶助のまち～

◎町民参加のまちづくりの推進

町民と行政がそれぞれの役割と責任を持って協働し、地域社会における課題解決の仕組みづくりに向けた、町民参加のまちづくりを目指しています。令和7年7月には、「古座川のクリーンキャンペーン」を開催予定です。町民自らの手でふるさとを綺麗にすることで、郷土を愛する気持ちをより一層育んでいく取り組みを行っています。

◎コミュニティ活動の充実

地域の連携や郷土意識の継承による魅力ある地域社会の形成に向け、地域コミュニティ活動の拡充と活性化への取り組みを支援しています。

◎男女共同参画・人権尊重社会の形成

男女が互いに人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮し、自分らしく輝いて暮らせる社会の実現に向け、意識づくりや環境づくりを進めています。

◎時代に即した自治体経営の推進

町民との信頼関係を維持し、安心して生活できる行財政運営を進めるため、時代に即した効率化に取り組みながら、財政の健全化と行政サービスの向上に努めています。

地域概要と施策課題

高池地域

古座川の河口流域に位置し、役場本庁が所在する町の中核域となっています。道の駅虫喰岩、古座川町観光協会等を中心に、観光客に町の玄関口として親しまれています。令和2年5月には、防災対策となる「古座川町津波避難総合センター」が完成しました。今後は若者の雇用場所を増やすこと等が課題としてあげられます。

世帯数 579戸 人口 1,107人



明神地域

古座川と支流小川が合流する本地域では、比較的平坦な農用地が広がっています。上流には観光名所「一枚岩」があり、隣接する道の駅一枚岩は多くの観光客で賑わいます。川口地区には古座川町保健福祉センターがあり、医療と介護、生活支援のサービス拠点となっています。過疎高齢化が進む中での人口数の維持、観光資源の維持等が課題です。

世帯数 317戸 人口 537人



小川地域

古座川の支流、小川沿いに栄える本地域は、「滝の拝」など渓谷の自然が豊かな地域です。道の駅瀧之拝太郎には、診療所、役場出張所、集会所兼避難所を併設し、住民の憩いの場と行政機能を果たしています。町内で最も過疎化、高齢化が顕著な地域であり、過疎高齢化対策や、自然環境を保全する取り組みが今後の課題となっています。

世帯数 70戸 人口 97人



三尾川地域

古座川中流域に位置する本地域は、奥地地域への中継地点です。光泉寺の子授け銀杏には多くの観光客が訪れ、毎年11月下旬には「イチョウ祭り」が開催され、令和4年度より観光協会によるライトアップを実施しています。今後の課題としては、近畿自動車道紀勢線すさみ南インターへのアクセス道路として重要な県道串本古座川線の早期改良等があげられます。

世帯数 148戸 人口 241人



七川地域

町最大の行政区域を持つ本地域は、七川ダム上流に位置し、特産品であるゆずの生産が盛んです。平井地区にはゆず加工の製造設備が稼働し、雇用の創出を担っています。同地区の北海道大学和歌山研究林本館は、「国登録有形文化財（建造物）」に指定され、地域住民や利用する学生に愛されています。道路網整備や、七川ダム湖畔の桜の老朽化等が今後の課題となっています。

世帯数 235戸 人口 320人



(令和7年1月1日 住民基本台帳人口)

古座川の見どころ

◎古座川峡

紀伊半島南部の最高峰大塔山を源とする清流・古座川のいたるところには、一枚岩や虫喰岩、牡丹岩、少女峰、飯盛岩、天柱岩など奇岩奇峰の一群が顔を出し、古くより古座川峡として親しまれています。鮎の友釣りが楽しめる川としても有名です。



◎国指定天然記念物「高池の虫喰岩」

風雨の浸食により多くの洞窟ができたこの岩は、蜂の巣や、いくつかの顔の表情のように見えます。穴のあいた小石に糸を通して願掛けをすると、耳の病気が治るとの言い伝えがあり、今でも願いのこもった小石が置かれています。



◎国指定天然記念物「古座川の一枚岩」

高さ100m、幅500mの一枚岩は、文字どおり一枚の大きな巨岩から成り、古座川の水辺からそそり立つ姿に圧倒されます。4月下旬と8月下旬には、民話になっている「一枚岩の守り犬」の影が出現します。



◎日本桜百選－七川ダム湖畔の桜

七川ダム湖畔の桜は、日本桜百選のひとつに選ばれており、毎年春には桜まつりを開催し、多くの花見客で賑わいます。七川ダムは、昭和31年に完成し、約1.8km²のダム湖ではバス釣り等を楽しめます。



◎滝の拝と清流小川

古座川最大の支流である小川は、山村の風景と水の透明度が注目されています。中流にある滝の拝は、川床がすべて岩床で、大小さまざまな奇形の岩穴は、その昔瀧之拝太郎が刀でくり抜いた水鏡だと言われています。中央部の大きな滝は、訪れた人に自然のパワーと癒しを与えてくれます。



◎古座川の温泉

古座川町は温泉源にも恵まれており、月野瀬地区にある「南紀月の瀬温泉ぼたん荘」の他、長追地区には「美女湯温泉」があり、地域住民や観光客などに親しまれています。



◎古座川ジビエ

月野瀬地区にある「古座川ジビエ山の光工房（鳥獣食肉処理加工施設）」では、鹿肉や猪肉を食肉（ジビエ）として提供する取り組みを行っています。町の特産品であるにんにくやゆずを活用したメニューやレトルト食品等が登場し、古座川のジビエ料理はますます盛り上がりを見せています。



◎クマノザクラ

クマノザクラは、紀伊半島南部で新たに確認された野生のサクラで、平成30年3月に約100年ぶりの新種として発表されました。学術的にも大変稀な発見であり、学名取得論文の掲載にあたり標本を採取した木、「タイプ木」が池野山地区に存在しています。開花時期は3月中旬～4月上旬で、町内各地で美しいピンク色のクマノザクラの花を見ることができます。



主な年中行事・祭り・イベント

時 期	名 称	場 所
4月上旬	七川ダム湖畔の桜まつり	佐田
7月下旬	河内神社の河内祭り	高池
11月下旬	古座川の秋まつり	明神
11月下旬	光泉寺のイチョウ祭り	三尾川

【各種資料】



人 口

2, 302人
 1, 349世帯
 (令和7年1月1日住民基本台帳)

【参考】

2, 480人
 1, 248世帯
 (令和2年国勢調査)

面 積

294.23 km²
 (令和6年10月1日時点国土地理院)

自 然

河川… 古座川（2級河川） 流路延長56km
 ダム… 七川ダム 有効貯水容量25,400千m³
 降水量… 最近5年間平均降水量（令和2年～令和6年）
 潮岬2,557mm 西川3,523mm
 (気象庁ホームページ)
 気温… 令和6年平均気温
 潮岬19.3℃ 西川16.2℃
 (気象庁ホームページ)
 山岳… 大塔山（1,121.9m）
 平均標高200m～400m

人口及び世帯数の推移

年	人口(人)	世帯数(戸)
平成7年	3,884	1,674
平成12年	3,726	1,650
平成17年	3,426	1,585
平成22年	3,103	1,484
平成27年	2,826	1,378
令和2年	2,480	1,248

(国勢調査)

土地利用

区分	面積(ha)	率(%)
森林	28,257	96.0
耕地	133	0.5
宅地	82	0.3
その他	951	3.2
計	29,423	100.0

(令和6年町業務資料)

年齢別人口

区分(歳)	男(人)	女(人)	計(人)	率(%)
0～14	106	78	184	7.4
15～29	75	54	129	5.2
30～44	118	123	241	9.7
45～64	289	267	556	22.4
65～	542	828	1,370	55.3
総数	1,130	1,350	2,480	100

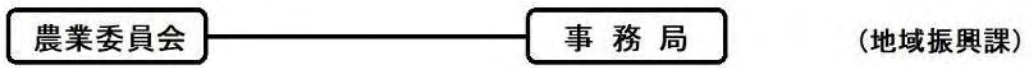
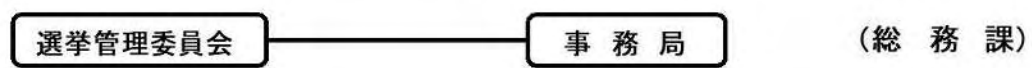
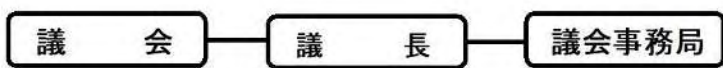
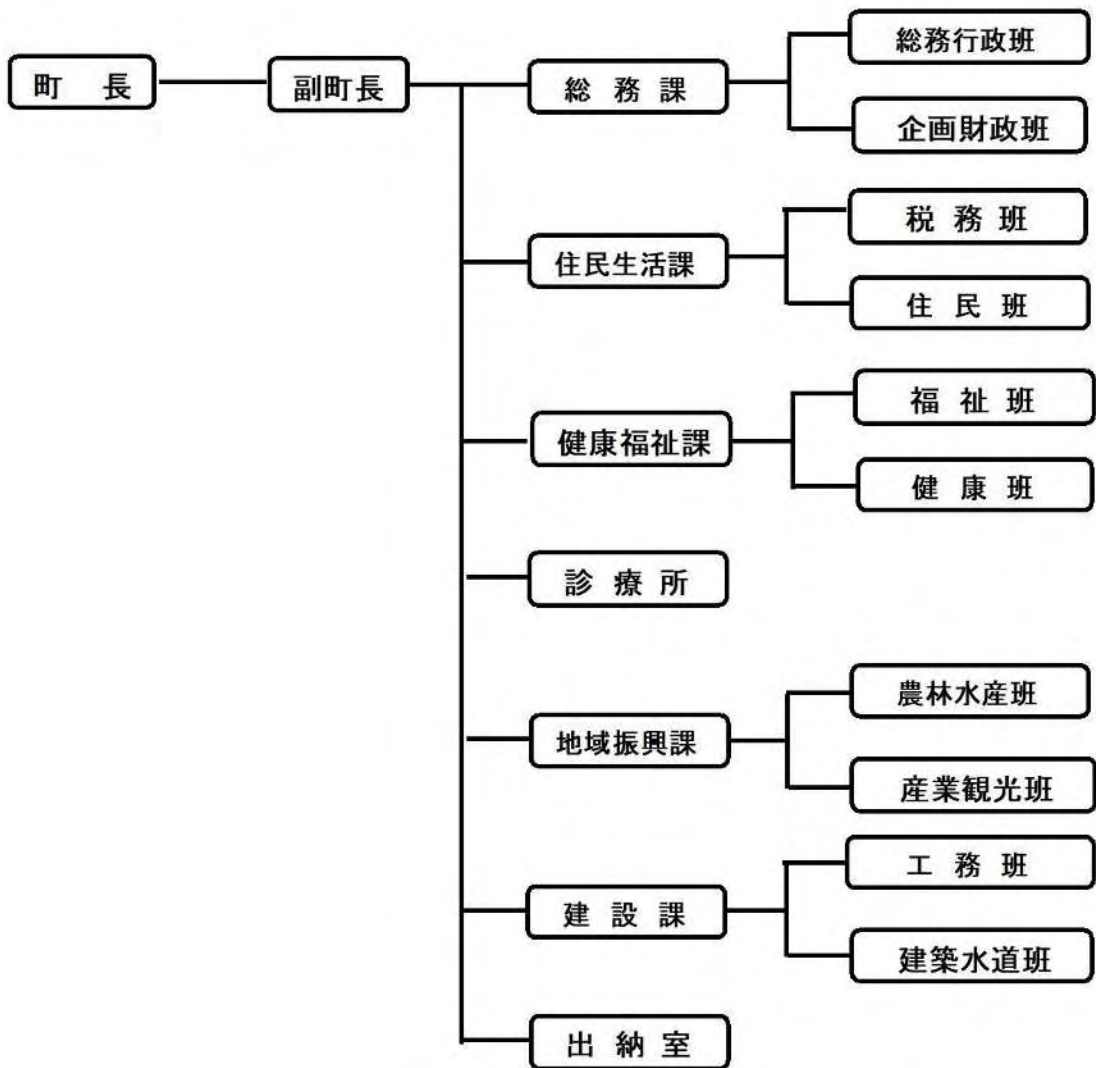
(令和2年国勢調査)

人口動態

年度	自然動態			社会動態			差引合計
	出生	死亡	差引計	転入	転出	差引計	
R1	7	70	△63	66	83	△17	△80
R2	7	63	△56	72	68	4	△52
R3	6	73	△67	70	88	△18	△85
R4	6	78	△72	59	54	5	△67
R5	4	75	△71	62	58	4	△67

(町業務資料)

行政機構



(令和7年1月1日現在)

特別職

職名	氏名	就任年月日	就任回数
町長	大屋 一成	令和6年6月15日	1期目
副町長	不在		
教育長	大畑 眞	令和6年9月3日	1期目

広域行政

組合区分	主な施設	所在地	組織する市町村名
紀南環境広域施設組合	廃棄物最終処分場	田辺市	田辺市・新宮市・みなべ町・白浜町・ 上富田町・すさみ町・太地町・ 那智勝浦町・串本町・古座川町
広域市町村圏組合	公設市場	新宮市	新宮市・那智勝浦町・太地町・ 北山村・串本町・古座川町
衛生施設事務組合	し尿・ごみ処理施設	串本町	串本町・古座川町
紀南学園組合	児童養護施設	新宮市	田辺市・新宮市・那智勝浦町・ 太地町・串本町・北山村・古座川町
老人福祉施設組合	特別養護老人ホーム 養護老人ホーム	太地町	新宮市・那智勝浦町・太地町・ 北山村・串本町・古座川町

議 会

区分	氏名	就任年月日	議会当選回数
議長	谷 久司	令和6年7月8日	6回
副議長	淡佐口 幸男	令和6年7月8日	3回

議会構成（定数9人）



選 挙

選挙人名簿登録人口

2,084人

(令和6年12月1日現在)

予 算

当初予算額

単位：千円

予 算 名		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
一 般 会 計		2,915,800	3,060,700	2,941,800	3,078,100	3,220,000
特 別 会 計	国民健康保険	437,730	422,479	445,570	417,185	398,492
	七川診療所	75,447	82,056	76,552	72,715	71,281
	明神診療所	67,884	68,693	67,681	61,795	66,030
	へき地診療所	21,531	20,288	22,213	21,154	26,899
	簡易水道事業	60,759	63,870	72,425	71,603	-
	介護保険	527,843	535,246	543,517	537,296	519,270
	後期高齢者医療	121,148	112,291	112,012	114,880	118,404
総 額		4,228,142	4,365,623	4,281,770	4,374,728	4,420,376

(予算書)

公営企業会計

単位：千円

単位：千円	当年度当初予算額		前年度当初予算額	
簡易水道事業会計	収益の収入	85,901	収益の収入	-
	収益の支出	83,065	収益の支出	-
	資本の収入	0	資本の収入	-
	資本の支出	32,244	資本の支出	-

財政状況

一般会計（決算）

単位：千円

区 分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
歳入総額	3,654,493	3,958,523	4,080,071	3,898,543	3,651,187
うち町税 (比率)	201,598 (5.5%)	207,446 (5.2%)	204,744 (5.0%)	203,183 (5.2%)	237,805 (6.5%)
歳出総額	3,197,023	3,476,394	3,496,577	3,433,958	3,151,169
歳入歳出差引額	457,470	482,129	583,494	464,585	500,018

(決算書)

普通会計（決算統計）

区 分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
財政力指数	0.13	0.14	0.15	0.15	0.15
公債費比率	5.9%	5.9%	5.7%	5.4%	5.3%
地方債現在高	2,855,295	2,708,123	2,662,088	2,443,890	2,315,258

(決算統計)

国民健康保険

加入世帯数	466世帯
被保険者数	688人
受診件数	10,668件
保険給付額	216,341千円

(令和5年度国民健康保険事業年報)

保健・福祉施設

種別	名称	設置	収容規模
特別養護老人ホーム	古座川園	社会福祉法人	50人
老人保健施設	あじさい苑	社会福祉法人	80人
在宅複合型施設	グリーンヴィレッジ 古座川	社会福祉法人	25人
認知症対応型共同生活介護	グループホーム もみの樹	社会福祉法人	9人
高齢者生活福祉センター	ささゆり	町(指定管理)	10人
児童福祉施設	児童館	町	50人
	子育て支援センター	町	50人
保健福祉施設	保健福祉センター	町	110人

医療機関(直営)

診療所名	開設者	診療科目	医師数	看護師数	事務者数
古座川町国民健康保険 明神診療所	町長	内科・ 小児科	1	3	1
古座川町 小川へき地診療所	町長	内科・ 小児科	(1)兼	(1)兼	(1)兼
古座川町 三尾川へき地診療所	町長	内科	(1)兼	(3)兼	(1)兼
古座川町国民健康保険 七川診療所	町長	内科	1	3	1

文化財

種 別	指定数	名 称
国指定天然記念物	2	古座川の一枚岩
		高池の虫喰岩
国登録有形文化財 (建造物)	1	北海道大学和歌山研究林本館
県指定 名勝天然記念物	1	滝の拝
町指定天然記念物	9	八坂神社の社叢
		光泉寺の公孫樹
		ルーミスシジミ
		神戸神社の社叢
		祓の宮神社の社叢
		尾崎神社の社叢
		若宮八幡神社の社叢
		ハッチョウトンボ
		地藏紅葉
史跡	2	渡船碑
		蔵土の宝篋印塔
有形文化財	4	徳本上人碑
		霊巖寺の曼陀羅図
		常楽寺の十王図
		霊巖寺の十王図
民俗文化財	1	松の前の庚申

保育所

(令和6年4月1日現在)

区 分	町 立
箇所数	2箇所
利用定員	40人
園児数	32人
保育士	11人

学校

(令和6年5月1日現在 単位：校・人)

区 分	町立小学校	町立中学校
学校数	3	2
児童生徒数	76	77 (43)
教員数	30	22

注：() 内は古座川町の生徒数

児童・生徒数の推移

単位：人

区分	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
小学校	90	83	82	80	76	76
中学校	87 (30)	92 (44)	98 (47)	90 (32)	79 (31)	77 (43)

注：町立中学校生徒数には、町外からの受託分を含む。() 内は古座川町の生徒数

産業別就業人口推移

産業別		第一次産業	第二次産業	第三次産業	総数
H12年	人口(人)	205	294	933	1,432
	率(%)	14.3	20.5	65.2	100
H17年	人口(人)	162	196	927	1,287
	率(%)	12.6	15.2	72.0	100
H22年	人口(人)	137	174	806	1,131
	率(%)	12.1	15.4	71.3	100
H27年	人口(人)	144	140	752	1,040
	率(%)	13.8	13.5	72.3	100
R2年	人口(人)	109	135	714	958
	率(%)	11.4	14.1	74.5	100

(国勢調査)

※平成22年・27年の総数には、分類不能の産業14を含む。

農 業

農業経営体数	75
農家数(戸)	138
(うち販売農家)	59
(うち自給的農家)	79
経営耕地面積(ha)	60

(2020年農林業センサス)

林 業

林業経営体数	7
森林面積(ha)	28,200
(うち国有林)	386
(うち民有林)	27,814

(2020年農林業センサス)

商 業

商店数(店)	27
従業者数(人)	81
年間販売額(百万円)	731

(令和3年経済センサス-活動調査)

工 業

(従業員4人以上の事業所)

事業所数	3
従業員数(人)	43

(工業統計調査)

観 光

区分	観光客入込客数（人）					うち 宿泊客数
	総 数	花 見	釣 り	イベント	その他	
R 1 年	134,828	3,320	3,737	6,700	121,071	5,523
R 2 年	82,790	1,275	1,736	0	79,779	4,334
R 3 年	105,400	1,147	3,497	0	100,756	3,879
R 4 年	111,998	1,296	3,936	0	106,766	4,400
R 5 年	89,172	1,167	3,942	2,600	81,463	1,563

(観光客動態調査)

特産品

区分	品名
農産物	ゆず、ゆず加工品、にんにく
畜産	肉牛、乳牛
木材	一般木材、特殊材
特用林産物	しいたけ、しきみ、せんりょう、
	サカキ、ビシヤコ（ヒサカキ）、
	紀州備長炭
水産	鮎、鮎加工品、川エビ、川カニ
その他	ジビエ（鹿肉・猪肉）、ハチミツ、
	郷土料理（寿司、鮎、山菜、漬物）

道 路

区分	町道	農道	林道
路線数	196	26	33
実延長（m）	142,705	12,484	110,267
改良率（%）	35.6	—	—
舗装率（%）	84.6	89.4	69.8

(令和6年4月1日現在 路線調書・道路台帳)

水 道

区分	施設数	計画人口	給水人口	町人口	普及率
総数	8	1,020人	1,499人	2,346人	64.0%
上水道	1	—	637人		
簡易水道	7	1,020人	862人		

注：上水道は串本町の経営による

(令和6年3月31日 町業務資料)

消 防

区分	総数 (人)
団長	1
副団長	1
分団長	4
副分団長	4
部長	1
班長	13
団員	74
総計	98

区分		総数
消防機械	消防ポンプ自動車	2
	小型ポンプ付自動車	8
	小型動力ポンプ	16
消防水利	消火栓 (65mm)	160
	消火栓 (40・50mm)	78
	防火水槽 (40t)	32
	簡易防火水槽 (10t)	3
	簡易防火水槽 (6t)	23

(令和7年1月1日現在 町業務資料)

主な公共施設

区 分	名 称	箇所数	区 分	名 称	箇所数
集会施設	中央公民館	1	観光施設	一枚岩観光物産センター	1
	生活改善センター	3		滝の拝 物産販売所	1
	総合センター	4		虫喰岩 物産販売所	1
	複合センター	1		温泉施設	2
	集会所	24		宿泊体験学習施設	1
生活環境	診療所	5		自然公園	2
	町営住宅	4 (61戸)		道の駅 一枚岩	1
	リサイクル作業場	1		道の駅 瀧之拝太郎	1
	斎場	1		道の駅 虫喰岩	1
	大型作業所	1			
	保健・福祉施設	3			
産業施設	女性・若者等活動促進施設	1			
	鳥獣食肉処理加工施設	1			
スポーツ施設 レクリエーション等	町民体育館	1			
	若者広場球技場	1			
	高瀬テニスコート	1			
	多目的広場	1			

町民の生活と暮らし

項目	内容	
人口密度（令和7年1月1日）	1 k m ² 当り	7人
世帯人数（〃）	1世帯人数	2人
出生（令和5年度中）	何日に1人	91日
死亡（〃）	何日に1人	5日
転入（〃）	何日に1人	6日
転出（〃）	何日に1人	6日
小中学校児童生徒 （令和6年5月1日）	教員1人に児童生徒何人	3人
町職員 （令和7年1月1日）	町民何人に1人	29人
町議会議員（〃）	町民何人に1人	255人
消防団員（〃）	町民何人に1人	23人
耕地 （2020年農林業センサス）	農家1戸当り何アール	43a
町の予算 （令和6年度予算総額）	町民1人当り	1,920,443円
町税収入（令和5年度決算）	町民1人当り	103,304円

注：小数点以下は四捨五入しています。

古座川町町勢要覧 令和7年版 (2025年版)

発行年月日 令和7年1月
発行・企画編集 古座川町役場総務課
〒649-4104
和歌山県東牟婁郡古座川町高池673番の2
TEL 0735-72-0180
FAX 0735-72-1858
URL <http://www.town.kozagawa.wakayama.jp/>